

No.	015	—	1001	事務事業名	道路橋梁維持管理費					公的関与	3			
PLAN	課名	建設課	係名	土木係	電話番号	089-964-4472	メールアドレス	kensetu@city.toon.ehime.jp						
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度	～	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	1 安心・安全な都市基盤の整備		主要施策	3 市内道路網の整備促進					
	事業の目的	市が管理する道路等の安全で快適な利用を図るため。				根拠法令等								
	事業の手段	市が管理する道路等の維持修繕、カーブミラーやガードレールの整備及び植樹帯等の管理を行い、快適な道路空間を提供する。				掲載計画								
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標				
			施設の老朽化等、状況に合わせた対応となるため。			目標								
						実績								
						目標								
						実績								
					目標									
DO	活動内容	①	道路施設等の維持修繕を計画的に行いました。			④								
		②	市内一円の必要とする箇所にカーブミラー、ガードレールの整備を行いました。			⑤								
		③	計画的に市道の植樹帯管理、道路除草を行いました。											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	土木			費				
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考								
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円									
		地方債	0千円	0千円	0千円									
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円									
		一般財源	143,941千円	136,920千円	136,415千円									
		計(A)	143,941千円	136,920千円	136,415千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	3.930人	24,527千円	2.344人	14,641千円	2.344人	14,542千円							
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円							
	全体事業費(A+B)	168,468千円		151,561千円		150,957千円								
CHECK・ACTION	一次評価者	土木係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
	必要性	市が管理する道路施設等の維持修繕は、市民生活に直結した事業であり、必要性の高い事業です。												
	有効性	市道等について適正な維持管理が求められる中、区長要望等を通じ、優先度を勘案して事業を実施することで、限られた予算を有効的に活用しています。												
	達成度	道路施設等の維持修繕等については、優先度を勘案して予算の範囲内で実施しており、これらを継続する事で、順次目標の達成を図っています。												
	効率性	道路施設等の維持修繕等については、ある程度一括して発注することにより、他事業との調整や緊急対応が可能となり、効率的な事業実施が可能となっています。												
	当面の課題	道路施設等の経年劣化に伴う老朽化が着実に進んでおり、今後更に修繕費用の増加が見込まれます。また、近年、これまでは地域活動の一環として行われてきた除草や側溝清掃等の作業が高齢化により対応困難となる傾向にあり、同様にこれらの対応に対する費用の増加が見込まれます。												
	改計画	道路施設等については、長寿命化計画を立て修繕を行うとともに、出来る限り補助事業を活用することで、コスト縮減に努めます。												
二次評価者	建設課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持	
二次評価での指摘事項	安全で快適な通行を確保するためには、道路施設の維持管理が必要不可欠であることから、道路パトロールで発見した異常箇所や市民からの要望・苦情箇所の迅速な修繕対応を行い、安全性・信頼性の確保に努める必要があります。また、道路除草については、地域住民の協力を可能な範囲で活用するとともに、費用の縮減を検討する必要があります。													

No.	015	—	1011	事務事業名	道路改良事業補助金						公的関与	3	
PLAN	課名	建設課	係名	土木係	電話番号	089-964-4472		メールアドレス	kensetu@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	1 安心・安全な都市基盤の整備		主要施策	3 市内道路網の整備促進				
	事業の目的	各地区の利便性、安全性向上を目的として、道路交通網の向上を図るため。				根拠法令等	東温市単独土木事業補助金交付要綱						
	事業の手段	各地区が主体となり実施する道路改良事業費に対し、費用の9割を補助する。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標			
				各地区の実情や意向に対する対応となるため。		目標							
						実績							
						目標							
						実績							
				目標									
活動内容	①	各地区から要望される設計、計画内容への補助を行いました。			④								
	②				⑤								
	③												
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	土木		費					
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円		0千円		0千円						
		地方債	0千円		0千円		0千円						
		その他特定財源	0千円		0千円		0千円						
		一般財源	10,407千円		10,764千円		11,700千円						
	計(A)	10,407千円		10,764千円		11,700千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.179人	1,117千円	0.179人	1,118千円	0.179人	1,111千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)	11,524千円		11,882千円		12,811千円							
一次評価者	土木係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市民生活の環境改善を図るうえで、必要性の高い事業です。												
有効性	本事業では、地元に対する9割の事業費補助が、各地域の道路利用上有効な手段となっております。												
達成度	地元からの道路拡幅要望に対し、事業採択及び進捗に関しても、概ね達成しております。												
効率性	本事業に関しては、補助負担率9割を有効に活用し、効率的に事業を実施しています。												
当面の課題	過疎化、人口減少等に伴う地域の財源縮小により、地元が望む本事業が衰退することが危惧されます。												
改計画	地元からの要望に対し、新たな工法の提案や工事間流用を計画的に行い、コストを抑えた事業を推進します。												
二次評価者	建設課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	道路管理者として地元の強い要望で生活道路を整備することは、市民の生活環境改善のために不可欠であり、市道の改良事業も含まれていることから、今後も効率的に実施する必要があります。												

No.	015	—	1028	事務事業名	市単独道路改修事業				公的関与	3			
PLAN	課名	建設課	係名	土木係	電話番号	089-964-4472	メールアドレス	kensetu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	1 安心・安全な都市基盤の整備		主要施策	3 市内道路網の整備促進				
	事業の目的	各地区の利便性、安全性向上を目的として、道路施設の機能向上を図るため。				根拠法令等							
	事業の手段	道路施設の改良、拡幅、及び舗装等を行います。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標			
			要望地区の実情や意向に対する対応となるため。			目標							
						実績							
						目標							
						実績							
					目標								
DO	活動内容	①	道路施設の改良、拡幅、及び舗装の新設を行いました。			④							
		②				⑤							
		③											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	土木			費			
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	26,700千円	21,058千円	16,500千円								
	計(A)	26,700千円	21,058千円	16,500千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.225人	1,404千円	0.225人	1,405千円	0.225人	1,396千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)	28,104千円		22,463千円		17,896千円								
一次評価者	土木係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市が管理する道路施設等の改良や舗装の新設については、市民生活に直結した事業であり、必要性の高い事業です。												
有効性	市道等について、区長要望等を通じ、優先度を勘案して事業を実施することで、限られた予算を有効的に活用しています。												
達成度	道路施設等の改良や舗装の新設については、優先度を勘案して予算の範囲内で実施しており、これらを継続する事で、順次目標の達成を図っています。												
効率性	道路施設等の改良や舗装の新設については、ある程度一括して発注することにより、他事業との調整や緊急対応が可能となり、効率的な事業実施が可能となっています。												
当面の課題	市民等から寄せられた要望に基づく事業ではありますが、市の財政状況等により、本事業に対する費用負担が懸念されます。												
改計画	新たな工法の提案や工事間流用を計画的に行い、コストを抑えた事業を推進します。												
二次評価者	建設課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	市道等の整備は、地域住民だけでなく道路利用者にとっても不可欠で重要な施策であることから、緊急性・重要性・費用対効果や地域のバランスも考慮しながら計画的に進める必要があります。また、国庫補助金等を有効に活用した道路整備に努める必要があります。												

No.	015	—	1032	事務事業名	橋梁等長寿命化事業						公的関与	3	
PLAN	課名	建設課	係名	土木係	電話番号	089-964-4472		メールアドレス	kensetu@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	1 安心・安全な都市基盤の整備		主要施策	3 市内道路網の整備促進				
	事業の目的	市が管理する道路施設(トンネル・橋梁)の安全で快適な利用を図るため。				根拠法令等							
	事業の手段	市が管理する道路施設の計画的な損傷調査及び維持修繕を行い、快適で安全な利用を提供する。				掲載計画	橋梁の長寿命化修繕計画、東温市トンネル長寿命化修繕計画						
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標			
			施設の老朽化等、状況に合わせた対応となるため。			目標							
						実績							
						目標							
						実績							
					目標								
DO	活動内容	①	道路施設の損傷調査を計画的に行いました。			④							
		②	道路施設の補修工事を計画的に行いました。			⑤							
		③											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	土木			費			
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	42,625千円	93,060千円								
		地方債	0千円	15,500千円	50,500千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	14,162千円	25,769千円	29,140千円								
	計(A)	14,162千円	83,894千円	172,700千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.409人	2,553千円	0.409人	2,555千円	0.409人	2,537千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)	16,715千円		86,449千円		175,237千円								
一次評価者	土木係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	市が管理する道路施設等の維持修繕は、市民生活に直結した必要性の高い事業です。												
有効性	施設を安心安全に利用するために、老朽化の状態から優先度を勘案して事業を実施することで、限られた予算内で効率的な整備を進めています。												
達成度	老朽化した道路施設等の計画的な修繕を継続することで、順次目標の達成を図っています。												
効率性	修繕箇所等のある程度一括して発注することや、補助事業を活用することで、効率的な事業実施が可能となっています。												
当面の課題	道路施設の経年劣化に伴う老朽化が着実に進んでおり、今後更に修繕費用の増加が見込まれます。												
改革計画	適切な長寿命化計画を立て、事後保全型から予防保全型へと転換を図り、施設の長寿命化並びに修繕にかかるライフサイクルコストの縮減に努めます。												
二次評価者	建設課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	橋梁・トンネル等については、長寿命化修繕計画に基づき、市道の橋梁・トンネルの修繕を補助対象事業として計画的に実施し、一般財源の縮減に努める必要があります。かつ、ライフサイクルコストの縮減や平準化を図る必要があります。												